~季節の花便り~

晩秋の日差しを浴びて黄金色に輝く花

「イソギク」咲き始めました!

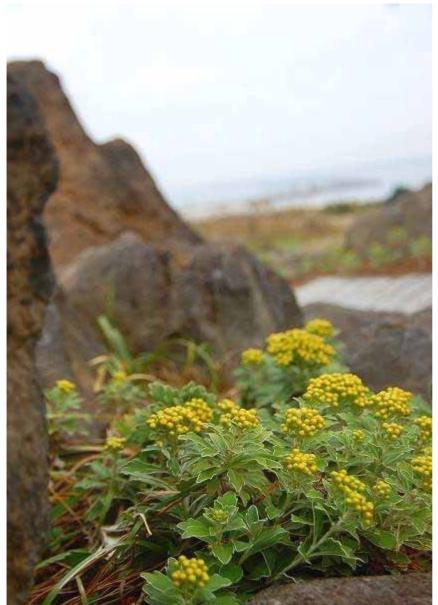
のキクで、葉の表面の濃い緑色と、葉黄色の小花が固まって咲く日本原産イソギクは、花びらのない鮮やかな

をします。 一次では、 一次では、 一次でで、 一なでで、 一なででで、 一なでで、 一なでで、 一なでで、 一なでで、 一なでで、 一なでで、 一なでで、 一なでで、 一なででで、 一なでで、 一なでで、

が北限である「イソギク」が海風を植物「ハマギク」に続き、現在、同県紹介した、茨城県が南限の海浜性

本公園は、その沖合いで寒流とも美しい植物です。

ます。 事掲載の程よろしくお願い申し上げのことと存じますが、取材並びに記のことと存じますが、取材並びに記ったとない。



現在、つぼみを付けた状態のイソギク。 間もなく黄金色に輝く花を咲かせ始める。 (砂丘エリア「海浜テラス」にて平成20年11月3日撮影)

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4 ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下 電話(029)265-9005 FAX(029)265-9339 ※お客様問い合わせ電話番号(029)265-9001 ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/kaihin 上旬頃までを見込んでいます。 おお、晩秋のひたち海浜公園を受けながらも力強く咲いています。

イソギク

キク科キク属多年草

原産地:日本

【イソギク豆知識】

イソギクは本州の茨城県以南の太平洋側に分布し、海岸の岩石地 や崖などに群生する 20~40cm の多年草です。

イソギクの名は、"磯に生える菊"ということから付きました。葉の表面が濃い緑色、裏面が銀白色というコントラストが美しく、花びらのない鮮やかな黄色い筒状の花が密にかたまって咲きます。

属名の chrysos anthemon は、「金の花」というラテン語に由来します。



【ひたち海浜公園のイソギク】 平成 20 年 11 月 2 日現在の状況

現在、日当たりの良い場所から咲き始めており、12 月上旬頃まで園内各所でお楽しみいただくことができます。

■砂丘エリア「グリーン工房」付近

面積:約 150 ㎡ 株数:約 2,300 株砂丘エリア内をゆったりと散策しながら、紺碧の海に映えるイソギクをご覧いただけます。



■「記念の森レストハウス」前

面積:約 270 ㎡ 株数:約 4,300 株 日当たりの良い斜面に咲いており、現在見頃を迎 えています。



■砂丘エリア「海浜テラス」付近

面積:約100 m 株数:約1,500 株 自生地である崖を思わせる岩の合間に咲く風情 をお楽しみいただけます。



■「はまかぜ橋」付近

面積:約13 m・株数:約200 株サイクリングで爽やかな風を感じながら、イソギクを鑑賞するのもおすすめです。



~トピックス~ 海浜部特有の植物「ハマギク」

茨城県から青森県の太平洋側に分布し、海岸の崖などに自生する日本原産のキクで、ひたちなか市付近が自生地の南限となっています。イソギクとともに、晩秋の海浜公園を彩る海浜部特有の植物で、地元ひたちなか市の花でもあります。



開花は 11 月中旬まで